

60 城と史蹟を歩く会 『四谷、赤坂、江戸城外濠を歩く』 ご案内資料

<日時> 平成13年10月9日(火曜日) 10時00分~16時30分ころ
 <主要行程> 八幡宿8時10分乗車 — 蘇我駅8時41分(④番線京葉快速)東京駅 — 四谷駅 — 四谷見附 — 外濠公園 — 食違い見附 — 迎賓館前 — 弁慶堀 — 弁慶橋 — 清水谷公園(昼食) — 赤坂見附 — 外堀通り — 日枝神社(星が岡城跡) — 永田町(大名屋敷街) — 憲政記念館(井伊邸跡)(休憩) — 加藤清正の井戸 — 有楽町線桜田門駅 — 新木場駅 — 蘇我駅 — 八幡宿駅着18時00分ころ

山岸弘明

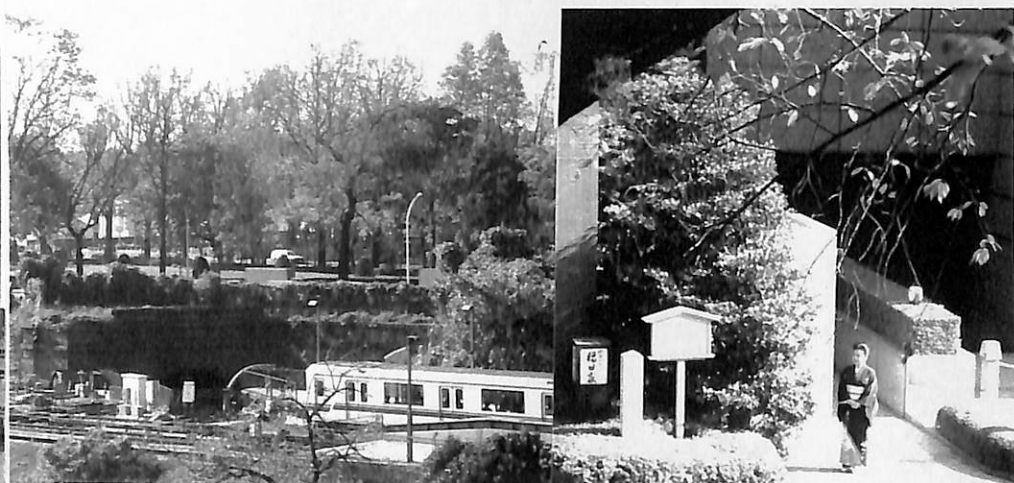
- はじめに (地名のいわれ)
 - ①四谷=江戸はじめ、武蔵野の続く荒野で家が4軒(4つ家)しかなかった。一(市)が谷から4つ目の谷とも
 - ②東海道四谷怪談=4代鶴屋南北の書いた歌舞伎脚本。田宮家の娘お岩がムコで夫伊右衛門の不実を亡霊となって仇なす。あくまでも作話。お岩様の墓は田宮家の菩提寺豊島区の妙行寺にある
 - ③麴町=国府への道、コクフジのなまり。小路が多い、麴屋があったとも
 - ④赤坂=茜山、赤土の坂、赤坂奴の居住地など
 - ⑤星が岡(星の山)=星の降る丘、星の中にそびえる山、地形をいいえている
 - ⑥永田町=日比谷入江の漁村。永田姓旗本居住
 - ⑦桜田=平安時代からの地名。桜木が多かった
 - ⑧霞が関=日本武尊エゾ征伐のとき関を築く。大和から霞を隔てて遠い
- 四谷見附(四谷御門) (門垣一部現存)
 - ①見附は見張所を意味する。城門の俗称だが、江戸城では外濠の門を指し三十六見附と総称した。外濠は雉子橋を基点に江戸城をの字形に回り浅草橋まで、延長およそ30キロ
 - ②外濠の主要見附=雉子橋、竹橋、神田、常磐橋、呉服橋、鍛冶橋、数寄屋橋、山下、幸橋、虎、赤坂、四谷、市ヶ谷、牛込、小石川、筋違橋、浅草橋
 - ③見附は枡形門で造られ、石塁で囲んだ枡形、1の門(渡櫓門)、2の門(高麗門)からなる。番士を配備し、主要箇所は夜間門扉を閉ざして通行を遮断した
 - ④四谷見附の構成(図参照)=食違い道路、土橋(橋台)、木橋、高麗門、内枡形右折れ、渡櫓門(17×4間)、大番所
 - ⑤四谷見附の警護=鉄砲5丁、弓3張、長柄5筋、持筒2丁、持弓1組。3千石~1万石勤番3年、番士3人羽織袴着(諸御門番所御法令書)
 - ⑥四谷見附橋=江戸時代のない橋、大正2年都内最古の鉄橋。デザインは迎賓館をイメージ
 - ⑦新四谷見附橋=旧見附門の橋。なぜか歴史が逆転、古い方が新橋
 - ⑧外濠の内側(東側)は江戸城内、外側は城外で甲州街道を四谷、新宿、八王子をへて甲府へ
 - ⑨甲府城は江戸城の支城。江戸城が落城したとき最後の決戦を
 - ⑩四谷駅=旧外濠にすっぽり。濠の中の駅はめずらしい

- 外濠土塁(外濠公園)
 - ①江戸城外濠の構築=寛永11年末、徳川家光は江戸城の総仕上げ工事として諸大名に外濠の造営を命令、工事は12年1月の石材採取にはじまり、翌13年7月?すべてを竣工
 - ②総構え=一朝有事にそなえ、町人住居も城内に取込む
 - ③溜池落口から城側を石垣(石塁、石壁)。溜池先は土塁、それ以前にあった川を拡幅
 - ④虎、御成橋、食違い、赤坂、四谷、市ヶ谷、牛込口、小石川、筋違橋、浅草橋見附、溜池橋台構築
 - ⑤北国、中国、西国諸大名に石垣、同大大名に+枡形門。関東、奥羽諸大名は堀削工事を担当
 - ⑥石垣工事担当大名=1番組前田利常、2番組松平忠昌ほか5家、3番組細川忠利ほか8家、4番組池田光政ほか13家、5番組黒田忠之ほか15家、6番組鍋島勝茂以下15家(担当区域不詳)
 - ⑦枡形担当大名=四谷見附黒田忠之、食違い見附生駒高俊、赤坂見附黒田忠之(ほか省略)
 - ⑧堀削工事担当大名=1番組加藤明成ほか3家、2番組上杉定勝ほか4家、3番組松平光長ほか15家、4番組佐竹義隆ほか5家、5番組伊達政宗、6番組酒井忠勝ほか9家、7番組松平(榊原)忠次ほか9家(ほとんど担当区域不詳)
 - ⑨堀削2番組(上杉)の工事内容(案内区間の多くを担当)
 - ⑩市ヶ谷~牛込(飯田橋)、食違い~赤坂担当。うち第1工区1番町場の市ヶ谷~牛込間は長さ81間、深さ3間3尺、巾44間4尺
 - ⑪外濠と土塁(図参照)=外濠巾およそ100m、水深およそ2m、土塁高さおよそ水面20m、G.L10m、上部巾およそ10m。水たたき(水面の石垣)、叩き土居、当初白壁塀、享保以降松
- 上智大学(徳川尾張藩邸跡)
 - ①旧御三家尾張名古屋17万石中屋敷。17,870坪
 - ②上智大学は日本最初のカトリック系大学。聖イグナチオ教会は正午に美しい鐘の音を響かす
- 食違い見附(食違い門形式) (かなり現存)
 - ①赤坂紀伊邸と外郭を結ぶ外濠の門。唯一の中世様式食違い形式門。開口部が石垣でなく土の虎口
 - ②食違い形式門=左右が食違って攻撃しにくくする。江戸城では珍しい脆弱な構造。紀伊邸が防御施設? 門番所もなく寂しかったので自殺の名所でも
- ホテルニューオータニ(井伊家中屋敷跡)
 - ①旧彦根井伊35万石下屋敷。14,175坪
 - ②現在はホテルニューオータニ。弁慶堀の遊歩道を開放していたがいまは閉鎖中

←四谷駅は外濠の中
↓四谷見附跡

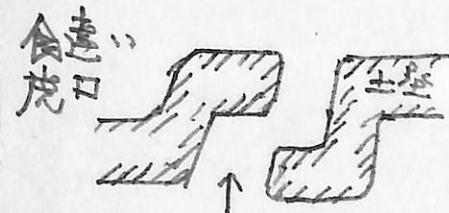
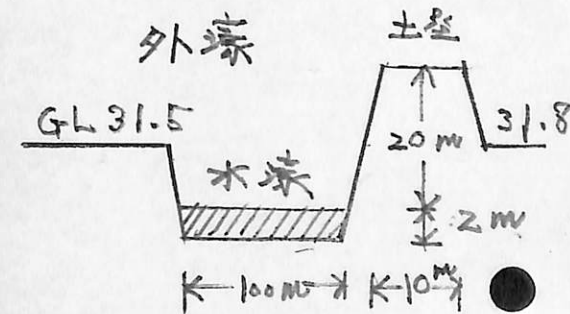


↑四谷見附の史蹟案内看板



外濠の先に迎賓館

尾張町跡



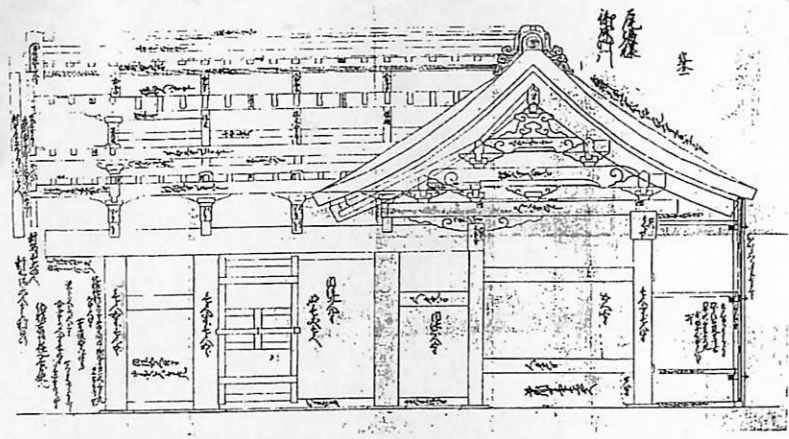
井伊邸跡 ↑



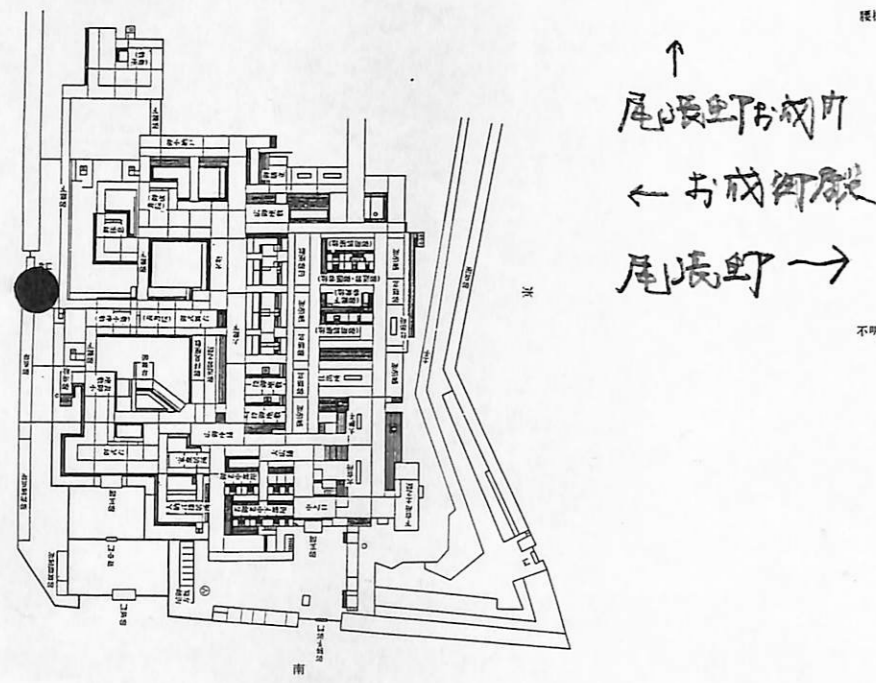
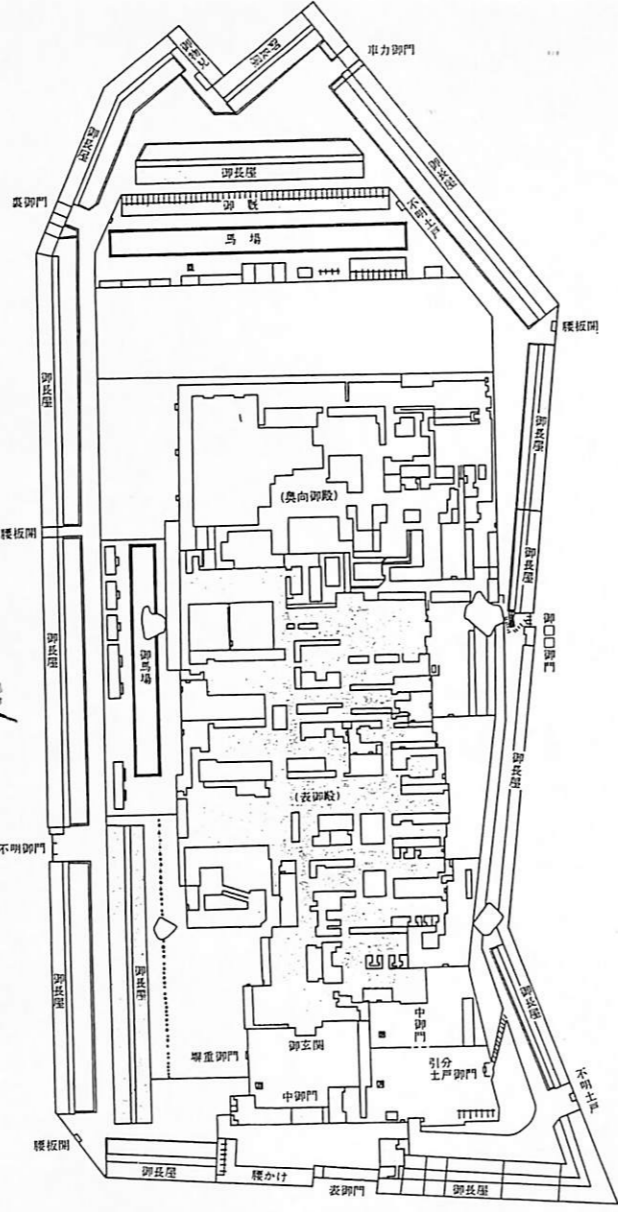
4



食違い見付跡



第189回 尾州邸御成門建地割 (東京国立博物館所蔵)



↑ 尾張邸御成門
← 赤坂御門
尾張邸 →

7) 紀伊徳川邸東門

- ①旧紀伊徳川家下屋敷東門。江戸時代の現存建造物。薬医門、切妻屋根、本瓦葺き、軒瓦などは皇室の菊紋に取替えられ、照明器具が明治を偲ばせる
- ②門を入ると正面に迎賓館日本間と迎賓館本館、すすんで旧紀伊家池泉回遊式庭園。取囲むように皇太子殿下の東宮御所、秋篠宮、秩父宮妃などほとんどの皇族が居住。当然立入り不可

迎賓館 (旧紀伊徳川邸)

- ①旧紀伊徳川和歌山55万石下屋敷。280,762坪
明治6年皇居焼失から22年明治宮殿新築までの仮皇居。旧赤坂離宮
- ②迎賓館は皇太子時代の大正天皇東宮御所として明治42年建造。バックingham宮殿とベルサイユ宮殿を模した。設計はコンドルの弟子片山東熊。外観は装飾性の色濃いネオ・バロック様式、内部はロココ調、昭和43年110億円の巨費を投じて改修、外国賓客を迎える迎賓館に



旧紀伊邸東門

← 迎賓館

9) 赤坂と弁慶堀

- ①赤坂=由来は前出。赤坂は元赤坂、赤坂に赤坂はない
- ②弁慶堀=大工頭弁慶小左衛門が堀削。なぜか濠でない堀
- ③首都高速4号線=迎賓館に賓客を迎えるときの特別ゲートも

10) 清水谷公園 (工事中でちょっと不便ですが 昼食)

- ①旧紀伊和歌山55万石上屋敷の一部
都心に残された憩いの場、残念ながら池泉は当時のものでない
- ②大久保利通供養碑 (紀尾井坂を遠望) =薩摩藩士出身の明治元勳。王政復古、倒幕に奔走、維新後内務卿に就任、事実上の独裁権を握って明治政府の基礎を固めたが、明治11年赤坂離宮にあった皇居参内の途中、紀尾井坂で反対派に暗殺。48才の生涯

11) 赤坂プリンスホテル (徳川紀伊家上屋敷跡)

- ①ここも旧紀伊和歌山邸のつづき。紀伊家上屋敷と弁慶橋の説明板が向かいあう
- ②北白川宮邸跡、韓国皇太子李王家邸跡。現在は赤坂プリンスホテル

12) 赤坂見附 (赤坂御門) (門垣一部現存)

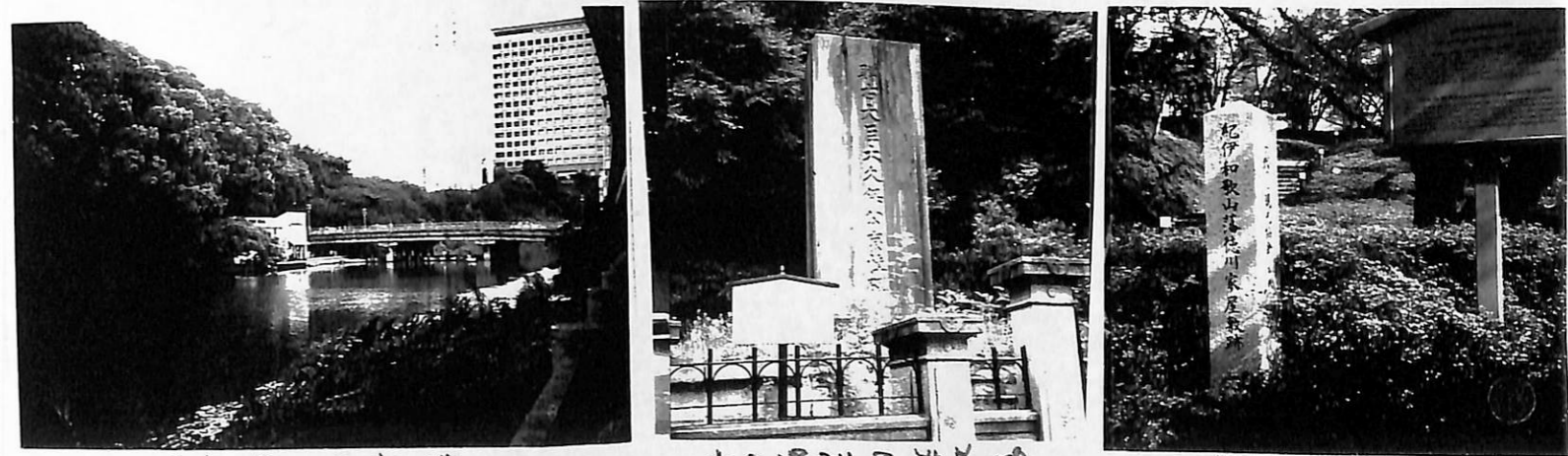
- ①赤坂方面と外郭を結ぶ外郭門
- ②巨大土橋 (両側に濠)、高麗門、内枳形 (石垣) 右折れ、渡櫓門。枳形巾45mで江戸城最大の門

13) 松平出羽守屋敷跡 (赤坂東急ホテル、衆議院、参議院議長公邸)

- ①松江松平出羽守家18万石上屋敷。家康2男結城秀康3男直政から。茶人松平不昧が有名
明治以降、閑院宮邸、華族女学校で、大名門は昭和20年に焼失
- ②現在は衆、参議長公邸。両側道路の低地は濠跡、地形が物語る

14) 外堀通りと溜池

- ①岸和田岡部美濃守家5万石上屋敷
悲劇のホテルニュージャパン火災跡。永田町2丁目ビル、ネクストその子さんは外資系?
- ②外堀通り=かつての外濠跡。下を丸の内線などが
- ③溜池=外濠兼上水道ダム。慶長11年浅野幸長の進言で構築。玉川上水の開削で役割終える
寛永13年家光の絵構え工事で拡大。風景明媚江戸名所、しかしヘンピでお化けのノッペラポーも



弁慶堀と弁慶橋

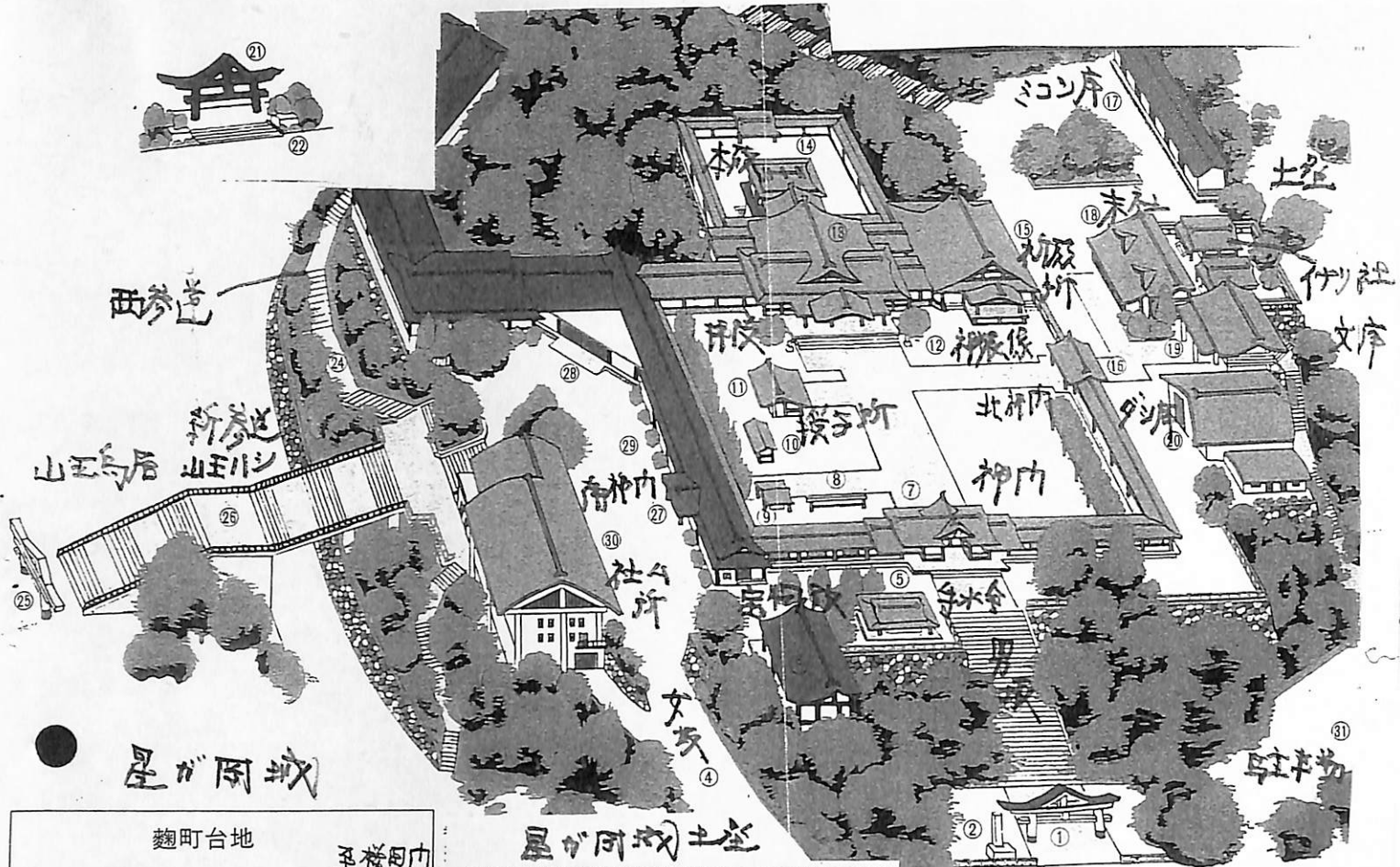
大久保利通供養碑

紀伊家上屋敷跡

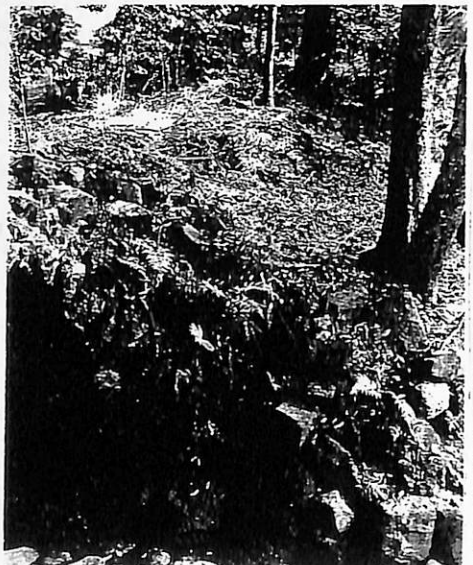
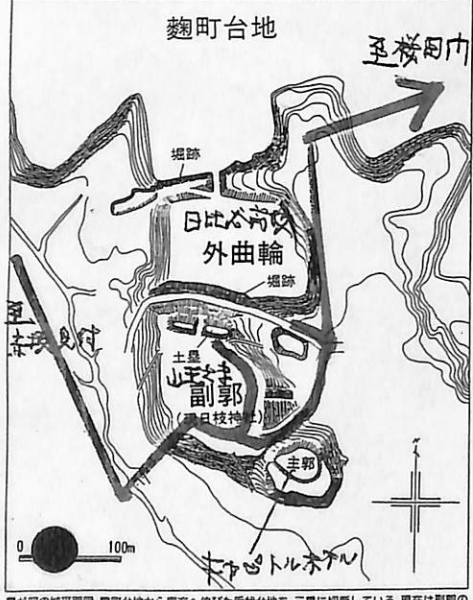


赤坂河内跡

赤坂河内の跡 (長谷川武久) 寺子屋跡



星が岡城



- 15) 星が岡城跡
- ①星が岡(星の山) = ロマンチックな地名
 - ②戦国中期から末期の北条氏支(枝)城。歴史的伝承はまったくなく城主も不詳
中世江戸城と並立。江戸城支城? 外郭?
 - ③壘町台地南端の舌状台地の先端。背後に川と急ガケ、比高20メートル。天然の要害
 - ④丘城(山城、平城の中間。関東に多い)。城域は南北300×東西200m。中規模の城
空堀3本を開いて主郭(本丸)、副郭(2の丸)、外郭?(3の丸)を構築
 - ⑤副郭(日枝神社) = 地形は余り変わっていない。新道側(搦手側)は難攻さを伺わせる
男坂、女坂、大鳥居の坂とも虎口の変化? 土塁一部が現存
 - ⑥主郭(キャピトル東急ホテル) = 台地ごと取崩す。一段高い詰め城
 - ⑦副郭と外郭? 間の空堀(日枝神社と日比谷高校間の道) = 道路の最高点は土橋跡
 - ⑧外郭? (日比谷高校) = 戦時は城兵を集結し、迎え撃つ。遺構はない
- 16) 日枝神社(山王さま) (自由参拝)
- ①文明10年(1478)太田道灌が江戸城鎮護のため城内に創建。江戸城紅葉山、元山王(国立劇場付近)をへて明暦大火後の万治2年(1659)現在地へ移転
 - ②江戸時代は將軍家の産土神として崇敬厚く、維新後も勅祭社として繁栄
 - ③山王祭。神田明神と隔年で開催。みこしと山車が江戸城内に入って將軍が上覧
 - ④本殿、幣殿、拝殿、唐門などが国宝であったが昭和20年5月の東京空襲で焼失。昭和37年再建
 - ⑤稲荷社。唯一の歴史的建造物。万治2年建造

- 17) 三べ坂
岸和田岡部藩、岡部安部撰津守2万石、伯太渡辺備中守1万石。べのつく3大名上屋敷
- 18) 永田町大名屋敷街
- ①政治中心地。国会議事堂を中心に首相官邸、議長官舎、議員会館、党本部など
 - ②江戸時代の大名屋敷、旗本高官邸
国会議事堂 = 広島浅野安芸守42万石中屋敷、松代真田信濃守10万石中屋敷ほか
国会図書館 = 大村大村丹後守2万石上屋敷、宇土細川山城守3万石上屋敷ほか
議員会館 = 岡部安部藩、伯太渡辺藩、二本松丹羽左京大夫10万石上屋敷ほか
首相官邸 = 村上内藤紀伊守5万石上屋敷、峰山京極備中守1万石上屋敷ほか
議事堂前庭 = 彦根井伊藩、広島浅野藩上屋敷(一部)、福岡黒田美濃守家52万石上屋敷

- 19) 国会議事堂と国会図書館
- ①国会議事堂 = 国の最高決議機関
大正9年起工、昭和11年竣工、工期17年。総工費2,900万円
地上3階、中央部塔高さ65m、4階。右が参議院、左が衆議院
 - ②国会図書館 = 全国で出版されたすべての本を収蔵
- 20) 憲政記念館(尾崎記念館) (休息=自由見学)
- ①尾崎行雄 = 神奈川県出身の政党政治家。明治25年から衆議院連続25回当選。生涯を憲政擁護運動に
 - ②憲政記念館 = 昭和35年開設。総工費1億6千万円
 - ③記念公園 = 井伊直弼が横死した桜田門を遠望。写真のほしい絶景
 - ④日本水準原点。標高14m。日本のすべての標高はここが基準

- 21) 加藤清正邸、彦根井伊藩邸跡
- ①加藤清正邸跡(国会議事堂前庭、憲政記念館)
絢爛豪華な桃山殿舎。表門の儀はことごとく金張張りつけ
加藤清正 = 豊臣秀吉子飼。朝鮮の虎と恐れられる。関が原の合戦で徳川方。熊本52万石
加藤忠広 = 清正の長男。熊本52万石を継承、寛永9年改易
 - ②彦根井伊掃部頭25万石上屋敷 = 改易した加藤藩邸を井伊直孝に払下げ。寛永9年~明治維新
寛永12年3代將軍家光御成り。周囲に石垣、白壁を回し、隅櫓を上げる。金箔お成門、大棟門
井伊直政(直孝の父) = 徳川四天王。井伊の赤備え。徳川家臣団最大の名門。直弼ら大老4名
 - ③加藤清正の井戸 = 杵石組を残すが水はない

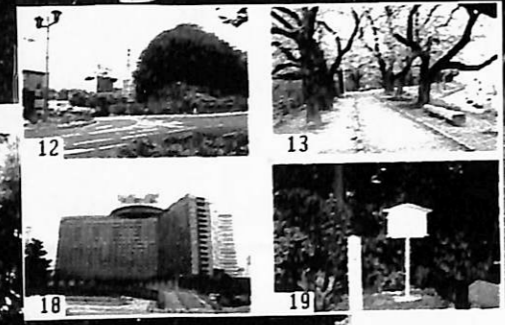
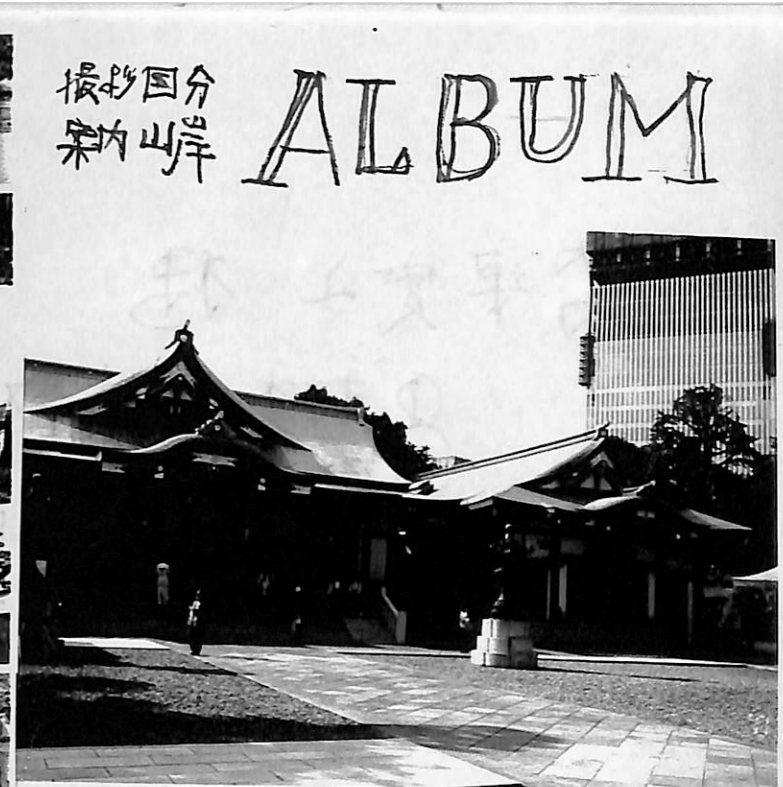
- 22) 桜田濠 (こちらは内濠)
- ①江戸城でもっとも美しい濠。なだらかな土塁に低い石垣。はじめ白壁塀、のち植松
 - ②源泉は半蔵門周辺の地下わき水。終点日比谷交差点で外濠(現在は地下下水路)へ
 - ③慶長11年2代將軍秀忠構築、土塁は家康指示。16年大拡張工事。伊達政宗、鍋島勝茂ら担当

- 23) 有楽町線桜田門駅(解散)
- 桜田門は第1回歩く会(3月)でご案内しました。途中入会者などご希望の方があれば閉会后、ご案内いたします。お申出ください。

以上



振抄国分
新山岸 ALBUM



城と史跡を歩く会 第32回

第6回 10月9日(火曜日) 四谷、赤坂、江戸城外濠を歩く

新山岸
0436-42-2237

主要コース=迎賓館前(紀伊下屋敷跡)、四谷見附跡、食違見附、清水谷公園(昼食)、
赤坂見附跡、溜池跡、日枝神社、星が岡城跡、国会議事堂、憲政記念館、加藤清正邸跡
みどころ=紀伊邸跡に建てられた赤坂離宮が迎賓館に。外濠の土塁を巡りながら四谷、食違、
赤坂と3つの見附と中世江戸出城をめぐる。

次回は11月10日(土) 鎌倉です。詳しくは予告編をご覧ください。

